



独立行政法人  
大学改革支援・学位授与機構  
National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education

# 機構ニュース

Vol.243 2023 September

## 今月の記事

### Top News

- 「大学改革支援・学位授与機構で学士の学位取得をめざす方への説明会」を開催  
..... 1

### 学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業生等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

- 令和5年度10月期学士の学位授与申請に係る受付期間及び試験日程等  
..... 2
- 認定専攻科における教育の実施状況等の審査について  
..... 3
- 特例の適用認定を受けた専攻科における教育の実施状況等の審査について  
..... 3

### 調査研究

- 研究開発部教員紹介  
..... 4

### 機構の窓

- 会議の開催状況  
..... 5

### 主要行事日程

- Schedule (9月~11月)  
..... 6

## TOP NEWS

### ○ 「大学改革支援・学位授与機構で学士の学位取得をめざす方への説明会」を開催



当機構は、令和5年8月5日（土）に、「学位授与制度説明会～学位授与制度を利用して学士の学位取得をめざす方へ～」を、放送大学と共同で開催しました。

当機構と放送大学は、平成26年度に、生涯学習社会における高等教育の推進という共通の目的の下、学位授与事業と大学教育活動で相互に協力していくための協定を締結しており、本説明会もその一環として放送大学10月入学生募集や学位授与申請者への案内が行われ

ています。

今年度は4年ぶりに対面開催を実施するとともに、昨年度に引き続き、放送大学の配信等に関する技術的なノウハウを活用した、同時ライブ配信（YouTube）も行いました。

6月下旬から両機関のウェブサイト等で募集したところ、会場参加とオンライン参加を合わせて200名を超える方々からの参加申し込みがありました。当日は、会場参加者には放送大学東京文京学習センターにご参集いただくとともに、オンライン参加者にはYouTubeの限定配信接続先のURLを送信してアクセスしていただくことで、全国各地からのご参加を実現いたしました。

説明会は放送大学の司会（MC）により進行し、当機構が制作した動画コンテンツ「単位積み上げ型の学士の学位授与制度」を視聴いただいた後、「学位授与申請の手続きについて」と題して、機構の制度による学位取得の流れを「[新しい学士への途](#)」に即して説明しました。その後、「事前質問への回答コーナー」として、事前に多く寄せられた質問と回答を整理して紹介しました。

当機構と放送大学は、今後も共同して種々工夫を凝らし、時宜を得た説明会等の企画を検討していきます。

なお、動画コンテンツ「単位積み上げ型の学士の学位授与制度」（約15分間）は、[当機構ウェブサイト](#)からアクセス〔YouTubeにリンク〕して、いつでも何度でも視聴することができます。

## 学位授与事業

### 短期大学・高等専門学校卒業者等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

#### ○ 令和5年度10月期学士の学位授与申請に係る受付期間及び試験日程等

令和5年度10月期学士の学位授与申請を以下のとおり受け付けています。申請方法の詳細は申請案内「[新しい学士への途](#)」p.35以降に記載しています。申請にあたっては必ずご確認ください。

最新情報については、機構ウェブサイトに随時掲載しますのでご注意ください。

#### 1 受付期間

申請時期	受 付 期 間
10月期申請	○ データ入力 令和5年9月9日（土）～令和5年10月4日（水） （最終日は17時までに送信完了）
	○ 書類送付 令和5年9月22日（金）～令和5年10月4日（水） （最終日は当日消印有効）
	○ 学位審査手数料 払込み 令和5年9月1日（金）～令和5年10月4日（水）

※学位審査手数料はATMでの払い込みはできませんので、窓口の営業日・営業時間に注意してください。

申請書類等の送付先	〒187-8587 東京都小平市学園西町1-29-1 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構管理部学位審査課
-----------	---

#### 2 試験日・試験地区

申請時期	試 験 の 区 分	試 験 地 区	試 験 日
10月期申請	小論文試験 （学修成果としてレポートを提出した者）	東 京	令和5年 12月17日（日）
		大 阪	
	面接試験 （専攻の区分「音楽」、「美術」、「演劇」のいずれかでレポート以外の学修成果を提出した者）	東 京	令和5年 12月10日（日）

#### 【お問合せ先】

独立行政法人大学改革支援・学位授与機構  
管理部学位審査課

電 話 042-307-1550

F A X 042-307-1555

9:00～12:00 13:00～17:00

（土・日曜、祝日、年末年始を除く。）

## ○ 認定専攻科における教育の実施状況等の審査について

機構が認定した短期大学・高等専門学校の特攻科については、認定又は再審査の結果の通知日の属する年度の次年度の4月1日から、原則として5年後に教育の実施状況等の審査を行い、その後は、原則として7年ごとに審査を行います。

### ・令和5年度に実施する教育の実施状況等の審査

本年度は、短期大学の認定専攻科のうち、4校5専攻について教育の実施状況等の審査を行います。各専門委員会における教員組織等の審査を経て、令和6年2月19日（月）開催の学位審査会で最終審査が行われる予定です。

## ○ 特例の適用認定を受けた専攻科における教育の実施状況等の審査について

特例の適用認定を受けた短期大学・高等専門学校の特攻科については、適用認定の結果の通知日の属する年度の次年度の4月1日から、原則として5年以内に教育の実施状況等の審査を行い、その後は、原則として5年ごとに審査を行います。

### ・令和5年度に実施する特例の適用認定を受けた専攻科における教育の実施状況等の審査

本年度は、短期大学の特例適用専攻科のうち5校5専攻及び高等専門学校の特例適用専攻科のうち9校15専攻について教育の実施状況等の審査を行います。各専門委員会における教員組織等の審査を経て、令和6年2月19日（月）開催の学位審査会で最終審査が行われる予定です。

## 調査研究

### ○ 研究開発部教員紹介

竹中 亨 特任教授



早いもので、機構に着任してから6年が経ち、改めて時の経過の速さに驚いています。機構では、調査研究においてはドイツを中心としたヨーロッパの大学のマネジメントやガバナンスの調査に携わり、事業支援では国立大学法人評価の事務局に参加して、評価事業のお手伝いをしました。

もともとは歴史学の出身で、ドイツ近代や日独関係が専門領域としていました。腰の落ち着かない性なのか、そのなかでさまざまなテーマに関わりました。学位論文は、明治日本でのドイツ企業の事業活動を扱った経営史です。しかし並行して、19世紀ドイツの菜食主義などのカウンター・カルチャーなどにも関心を持ちました。やがて、明治日本人はなぜ西洋音楽のごとき珍妙なものに心を寄せたのかどうにも不思議になり、それでその経緯を追跡しました。その後は、最後のドイツ皇帝ヴィルヘルム2世について評伝を書きました。

今は歴史研究はまったく廃業の体で、代わってもっぱら大学の学内資源配分だとか、規制緩和下での目標管理制度だとかに関心を向けています。他人からは、数十年携わってきた歴史からよくあっさりとは離れられましたね、と言われることがあります。しかし自分としては、これまでも興味に応じてテーマを頻々と変えてきたわけでもあり、その延長上の話として、とくに妙だとは感じていません。

ドイツの大学事情を調査研究の対象に選んだのは、やはり長年ドイツに関わってきたのが主たる理由です。国情や歴史に関する予備知識がありますし、言語面でも便宜があります。ただ、実際にこの対象に携わってみて、単なる便宜以上の積極的な理由があることが分かりました。

日本の大学問題をめぐる論議で、「外国」の例が引かれる場合、ほとんどがアメリカかイギリスです。しかし、アメリカの高等教育制度が構造や性格の点で国際的に見て特異だというのは常識ですし、イギリスはヨーロッパのなかでもきわめて変わった制度をもっています。双方とも、とても「国際標準」などではありません。

日本の大学、ことに国立大学にとって参考になるのは、大陸ヨーロッパの高等教育制度です。理由の第1は、大陸ヨーロッパでは国立大学が高等教育の柱をなしており、したがって高等教育財政の公的交付への依存度が高いことです。第2に、歴史的に大学は国家行政機構の一端をなしていたため、国家規制の伝統が強いことです。第3に、とくに中欧の「フンボルト的」高等教育制度では、教育と研究が一体的に行われます（フランスなどの「ナポレオンの」制度ではそうではありません）。

したがって、ドイツの事例はわが国の大学がどうあるべきかを考える際に、有益な材料を提供してくれると思います。昨今の「10兆円ファンド」をめぐる議論など、さしずめその好例でしょう。メディアでは、「外国」の有名大学は必ず巨額の基金をもっていて、それがないと一流大学たる資格がないかのような論調が目立ちました。

しかしドイツでは（そして、たぶん他の大陸ヨーロッパでも）、大学にそんな資産はありません。それどころか、予算不足がなかば恒常的で、教授全員の人件費を賄うために学生定員を水増しするなどというケースがまれではありません。

ドイツの事例が模範だというつもりは毛頭ありません。現に、私などにも訝しく思える動きがあります。ただ、英米の偏った事例で議論を進めるのは危険です。今後もドイツの事例を紹介することで、日本の高等教育の将来にわずかでもお役にたてればと念じています。

---

たけなか とおる 博士（文学）（京都大学）

平成29年3月まで 大阪大学大学院文学研究科教授

平成29年4月から 本機構研究開発部教授

令和3年4月から 特任教授

## 機構の窓

### ○ 会議の開催状況

#### ・学位審査会

第2回 令和5年8月25日（金） ウェブ開催

議事

- 1 学士、修士及び博士の学位授与の審査の結果について
- 2 専攻科に係る特例適用認定の審査の結果について
- 3 令和5年度認定専攻科及び特例適用専攻科に係る教育の実施状況等の審査の付託について
- 4 令和6年度認定専攻科及び特例適用専攻科に係る教育の実施状況等の審査対象の選定について
- 5 特例適用専攻科における学修総まとめ科目の実施状況等に関する学位審査会意見について
- 6 令和6年度省庁大学校の認定課程に係る教育の実施状況等の審査対象の選定について
- 7 学位授与事業に関する規則等の一部改正について
- 8 その他

## 主要行事日程

### ○ Schedule

9月

日	行事名	担当課
8日	学位取得者表彰式	学位審査課
9日～ 10月4日	令和5年度10月期学位授与申請（データ入力）受付期間	学位審査課
中旬	令和5年度高等専門学校機関別認証評価委員会（第2回）	評価支援課
13日	大学等の質保証人材育成セミナー（第1回）	評価企画課
22日～ 10月4日	令和5年度10月期学位授与申請（書類送付）受付期間	学位審査課
26日	<a href="#">令和5年度大学質保証フォーラム</a>	国際課

10月

日	行事名	担当課
11日	大学機関別認証評価検討ワーキンググループ（第3回）	評価支援課
18日	<a href="#">NIC-Japanセミナーシリーズ「中国の高等教育における学歴と学位 - 多様な学士・修士・博士への途」</a>	国際課

11月

日	行事名	担当課
10日	<a href="#">学位審査会（令和5年度第3回）</a>	学位審査課
21日	NIC-Japanセミナーシリーズ「(仮題)マレーシアの教育制度・高等教育資格」	国際課



独立行政法人

大学改革支援・学位授与機構

National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education

